

登録コード	FSE17500	開講年度	2026					
授業題目	構造化学特論					担当教員	亀山 達矢	
英文授業名	Advanced Structural Chemistry					副担当	杉本 渉	
単位数	1	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	金曜・1時限		対象学生	修士1、2年生
講義室	繊維3 0番講義室			授業形態	講義	備考	講義	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標		【ディプロマ・ポリシー】					【授業の達成目標】	
		26FS加・繊維学						
		【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力						
(2)授業の概要		環境やエネルギー問題の解決に役立つ材料の科学技術並びに周辺技術に関連した課題を選択し、教員の指導のもと、資料収集、調査、グループ討議等を行う。						
(3)授業計画		教員の指導のもと、計画的に実施する。 第1回 講義：講義の概要、ナノ材料分野の科学技術政策、先端無機材料の機能 第2回 課題設定、調査・資料収集1 第3回 調査・資料収集2 第4回 調査・資料収集3、発表資料作成1 第4回 中間プレゼン・グループ討議 第6回 調査・資料収集4 第7回 調査・資料収集5、発表資料作成2 第8回 発表・グループ討議						
(4)成績評価の方法		理解度、発表の内容と技術、質問の内容と討論の仕方を重視して、総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準		得点率による評価基準は次の通りとする。 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可（D）： 授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）： 授業の達成目標の水準にない						
(6)事前事後学習の内容		設定した課題を計画的に進めるために必要な自主学習時間を要する。事前事後学習は図書館での調査、プレゼン資料の準備などからなる。						
(7)履修上の注意		この講義は90分授業で実施する。 発表日を欠席した場合は単位は認定されません。 授業は ・ 講義 ・ 調査、まとめ（図書館） ・ 発表・討議 で行う						
(8)質問、相談への対応		何時でも質問を受け付ける。電子メールでも良い。						
(9)授業の形式		講義、プレゼン、討論						
(10)学生へのメッセージ		学部の授業では体験できない授業です。機能性材料には新機能創出の夢がいっぱい。そのおもしろさに触れていただきたい。						
【教科書】		指定しない						
【参考書】		指定しない						